

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年12月30日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	標茶町役場	代表者名	佐藤吉彦
担当者部署	総務課	連絡先電話番号	015-485-2111
担当者役職	係長	担当者氏名	秋田直樹
住所	088-2312 北海道標茶町川上4丁目2番地		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	井上 あい子
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	継続して支援していただいているため、本町を良く理解していただいた上で、もっとも適する助言をいただいている
アドバイザーへの要望事項	今後も継続してご支援いただけると幸いです。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2021年12月23日	10時30分	17時30分	90	330
3-2. 派遣場所	会場名	標茶町役場		最寄駅	JR標茶駅
	所在地	北海道川上郡標茶町川上4丁目2番地		最寄駅からの交通手段	送迎を予定
	派遣形態	フォローアップ (実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	職員、企業	9 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	自治体DXに対して、取り組む内容が分からない部署が多く、意識改革等を行うこととしたい。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	BPRを前提とした、課題の洗い出しを行い、課題に対して解決可能なことから対応を行う	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	BPRを前提としながら、課題に対して一つずつ解決することについて、協議を行った。また、地域おこし協力隊に対しても、情報の出し方などのアドバイスをいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	今後の業務への対応だけでなく、自治体DXそのものの学習の必要性など、改めて内部協議を行うことが重要とされた。また地域おこし協力隊に対しても、アドバイスをいただいたことで、今後の活動拡大へ、検討することができた	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	④人材育成のカリキュラムやツールを策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加者から直接意見聴取を行っている	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

